

SDGsに関連するCSR重要課題（マテリアリティ）と高田の取り組みについて



項目	SDGs目標		CSR重要課題 (マテリアリティ)	主要なテーマ	活動概要
品質 安定供給			・医薬品の品質確保及び安定供給	●品質を最優先する体制 ●安定供給体制	・品質管理の徹底 ・「安心と信頼への約束」に基づく品質の追求 ・安定確保医薬品の供給 ・新たな領域の医薬品の提供 ・医薬品情報の適切な提供と収集 ・生産能力増強 ・生産体制強化
		 	・法令遵守 ・公正・誠実な事業活動 ・サステナブル調達の推進	●ガバナンス ●コンプライアンス ●腐敗防止 ●リスクマネジメント ●サステナブル調達の推進	・コンプライアンスの徹底 ・薬機法およびGMP省令等の遵守 ・リスク管理の推進 ・内部統制の整備 ・ガバナンス強化 ・贈収賄・腐敗行為の防止 ・BCMの推進 ・サステナブル調達方針の策定 ・サステナブル調達ガイドライン、アクションプラン作成
健康 福祉		 	・健康寿命の延伸 ・社会貢献活動 ・子供達への支援	●医療費削減、患者負担軽減への取り組み ●ジェネリック医薬品についての情報提供 ●持続可能な社会への貢献 ●EHSの推進	・低価格で高品質なジェネリック医薬品の供給 ・ジェネリック医薬品新規薬価収載件数の推移 ・ジェネリック医薬品の供給による医療費削減効果 ・多様なパートナーシップの活性化 ・おくすり教室等 ・EHSの推進
人財		  	・多様な従業員が働きやすい職場環境改善・整備の推進	●従業員の能力最大化と安心して働ける環境の向上	①働き方改革 ・育児支援制度 ・有給休暇制度 ・病気療養者の支援制度 ・時間外労働の是正 ・有給休暇の取得促進 ②ダイバーシティ&インクルージョン ・ダイバーシティ（多様性）の推進 ・女性活躍推進 ・障害者雇用 ③採用・人材育成 ・タレントマネジメントによる戦略的人員配置と人材育成の推進 ④健康経営の推進 ・健康管理の取り組み（健康診断の実施、ストレスチェック検査等） ・健康増進の取り組み ・禁煙推奨活動 ⑤人権の尊重 ・人権の尊重に関する方針等の言及 ・様々なハラスメントの防止
環境		 	・環境保全への対応	●気候変動 ●廃棄物に関する管理活動の推進 ●水に関する取り組み ●環境に関する啓蒙活動 ●化学物質	・CO ₂ 排出量削減策の推進 ・エネルギー使用量削減策の推進 ・社有車のHV車等エコカーへの切り替え ・廃棄物発生抑制 ・再資源化の推進 ・水に関する取り組み ・環境に関する啓蒙活動 ・化学物質による環境汚染の防止

KPI	活動実績（～2024年3月）	掲載ページ	目標
・品質も供給も安心いただける医薬品の提供	・製造販売承認書と製造実態との齟齬チェック・対策の完遂 ・生産能力増強（北埼玉工場2号棟竣工（2023年7月）） ・生産体制強化 ・オペレーション本部立ち上げ（2024年5月）	16 ～ 19	・生産能力増強（高薬理活性製剤への注力など） ・生産体制強化（安定供給体制の構築と強化）
・Quality Cultureの醸成	・高田製薬のガバナンス強化 ・リスクマネジメント・コンプライアンスの推進 コンプライアンス意識調査の実施、コンプライアンス・ハンドブック更新 ・「企業活動と医療機関等の関係の透明性に関する指針」の遵守（医療機関等に対する資金提供内容の公開） ・BCM推進 模擬訓練の実施 ・防災への取り組み 安否確認訓練の実施、各事業所避難訓練・消火訓練の実施	20 ～ 23	・高田製薬のガバナンス強化：リスクマネジメント・コンプライアンス推進の強化 ・コンプライアンス研修の実施 ・従業員の腐敗防止意識の向上 ・BCM教育、模擬訓練の実施 ・BCM推進
・サステナブル調達アクションプランの作成・運用 ・サプライヤー調査	・CSR等に関する面談、設備等見学（6社） ・社内CSRセミナー開催 ・サプライヤーアンケートに関する調査準備	24	・サステナブル調達に関するアクションプランの作成・運用 ・サプライチェーン管理の推進 ・サプライチェーン調査実施
・ジェネリック医薬品新規薬価収載件数 ・ジェネリック医薬品新規薬価収載件数 ・ジェネリック医薬品の供給による医療費削減効果 ・社会貢献活動取り組み件数 ・環境、健康、安全に関する法令対応	・ジェネリック医薬品新規薬価収載件数： 2023年 6月期 1成分2規格 2024年 6月期 1成分2規格 ・ジェネリック医薬品の供給による医療費削減効果（出荷ベース）： 約198.5億円 ・ジェネリック医薬品に関する説明・お薬の基礎知識のHP掲載 ・健康情報の発信 ・関係団体主催の研修会の協力、工場見学の開催記事掲載 ・おくすり教室（さいたま市南区フェアへのブース出展） ・寄付型自動販売機 対象商品購入総数766本(2022年11月～2024年3月) ・障害者アートの利活用 ・認定NPO法人発達わんぱく会へシール、折り紙の寄贈 ・フードドライブの開催 ・各事業所の地域貢献 ・環境、健康、安全に関する推進体制、法令対応	25 ～ 29	・ジェネリック医薬品の薬価収載件数：着実な件数増加 ・ジェネリック医薬品の供給による医療費削減：継続的な実現 ・関係団体の研修会や工場見学への協力 ・社会貢献活動年3回以上実施
・男性の育児休業制度利用者数 ・「子育てサポート企業」として厚生労働省「くるみん」の認定の取得 ・1人当たりの従業員の平均残業時間 ・有給取得率	・女性の育児休業制度の利用者数20人（利用率100%） ・男性の育児休業制度の利用者数9人（2022年10月～2023年9月） ・1人当たりの従業員の平均残業時間 15.0時間(2022年10月～2023年9月) ・有給休暇平均取得率 74.2%※2022年12月～2023年11月 ・ワーク・ライフ・バランスの向上施策の実施 ・有給休暇の時間単位付与制度の導入・育児短時間勤務制度および子の看護休暇を小学3年生までの子をもつ従業員まで拡大・テレワーク勤務制度導入	30 ～ 31	・男性の育児休業制度利用者数 10人（2024年9月まで） ・「子育てサポート企業」として厚生労働省「くるみん」の認定の取得 ・有給休暇平均取得率 80%達成（2025年11月まで）
・女性管理職比率 ・障害者雇用率	・女性管理職比率 10.7%（2022年10月～2023年9月） ・埼玉県「多様な働き方実践企業」のプラチナ（最上位）認定 認定日：2021年2月1日 ・障害者雇用率 2.35%（2023年9月） ・厚生労働省「えるぼし」3段階目（3つ星）認定 認定日：2021年8月23日	31	・女性管理職比率 12%（2025年9月まで） ・障害者雇用率 2.7%維持 ・障害者の適材適所での活躍推進
・タレントマネジメントによる戦略的人員配置制度の運用	・自己啓発の促進策を実施（e-learning教材の充実 タレントマネジメントシステムの基盤整備を推進 ・人事制度、目標管理制度の改善を実施	32	・戦略的人員配置制度の実施
・健康診断受診率 ・ストレスチェック受検率 ・残業時間の月別比較 ・喫煙率	・健康診断受診率（2022年4月1日～2023年3月31日）100.0% ・ストレスチェック受検率（2023年7月） 89.3% ・健康優良企業step1 銀の認定更新 認定日2020年11月1日 ・健康経営優良法人2024の認定 認定日：2024年3月11日 ・健康管理・健康増進の取り組み ・喫煙率（2023年度喫煙率：12.0%）	33 ～ 34	・健康診断受診率 100% ・ストレスチェック受検率 100% ・健康優良企業step2 金の認定取得への取り組み ・喫煙率 10%以下（2025年度目標、2030年度目標は喫煙者ゼロ）
・コンプライアンス研修の実施	・コンプライアンス教育活動実施	35	・ステークホルダーへ人権が尊重されるような取り組みの強化 ・従業員の人権意識の向上
・Scope1、2に関連するエネルギー使用量 ・CO ₂ 排出量 ・Scope3排出量 ・ハイブリッド（HV）車導入率 ・廃棄物発生量 ・最終処分率 ・再資源化率 ・エコキャップ運動寄付状況 ・上水使用量 ・化学物質 ・環境に関する啓蒙活動	・省エネ機器への更新（照明のLED化）等 ・Scope3算定 ・カーボンニュートラル給油カードの導入 ・省エネ組織体制掲載 ・エネルギー使用量一覧、2023年度エネルギー使用別割合掲載 ・省エネの取り組み事例 ・社有車のHV車等のエコカーへの切り替え ・3R実施（エコキャップ運動への参加等） ・廃プラスチック再資源化に関する具体的目標の策定 ・水ストレスリスク評価、排水量調査 ・環境に関する啓蒙活動（e-ラーニング：5回 セミナー：5回） ・化学物質への対応（PRTR、環境コミュニケーション開催）	36 ～ 43	・省エネ法定報告Sクラス評価取得 ・CO ₂ 排出量：Scope1、2の合計：2030年度実績2018年度比48.8%削減 Scope1：2018年度比49.6%削減 Scope2：2018年度比48.2%削減 Scope3排出量の把握継続 ・最終処分量：2025年度に2000年度実績比75%程度削減 ・再資源化率：2025年度実績60%以上 ・廃プラスチック再資源化率：2030年度実績65%以上